



# 国民の声で大きな前進!

## 小中学校の少人数学級の早期実施を

コロナ禍のもとで、子どもたち一人ひとりに行き届いた教育を、感染症に強い学校をと、これまでにない多くの方が声をあげました。全国知事会や校長会・教育委員会の全国団体も少人数学級を求めました。2021年3月文科省は、公立小学校全学年の学級編成の標準を40人から35人に引き下げを行いました。一律引き下げを行ったのは40年ぶりです。今回の合意は、こうした国民の力でつくりだした重要な前進です。

### 中学校でも学級編成の引き下げを!

国は、小学校だけ、35人を5年かけて段階的に進めていますが、それでは不十分です。5年かけては、現在の3年生以上は卒業するまで、40人学級編成のままです。

また、体が大きくなっていく中学生の条件も早急に変更が必要です。

日本共産党は、小中高校全体で30人学級を可能な限り早く実施することを求めています。

多人数の学級では、子どもが内容を十分に理解しなくても授業は先に進みがちです。みんなで深く考えあう豊かな授業は、少人数でこそ可能です。

国会で菅首相は、共産党議員の質問に「一人一人にきめ細やかな教育が可能になる」と少人数学級の効果を認め、文科大臣も「中学校も含め最終的には、30人以下が理想だ」と発言しました。

子どものケアという点でも少人数学級が急がれます。

### 加配教員の活用で、

#### 36人以上の学級の解消を

現在、小学校1、2年生のみ1学級35人以下編成ですが、3年生以上が40人以下の学級編成となっています。

市内小学校では、いまだ9学年で36人以上

学級となっています。府内の多くの自治体では、少人数加配教員を活用して、36人以上学級を解消しています。

党議員団は、子ども達に行き届いた教育ができるよう、宇治市として小学校で35人以下の学級を全学年に早急に行なうこと。中学校でも35人以下学級にすることを求めています。

小学校名	一学級の人数
菟道小学校 6年生	37人
槇島小学校 5年生	39人
小倉小学校 3年生	39.7人
小倉小学校 4年生	36人
南小倉小学校 3年生	40人
南小倉小学校 4年生	37人
大開小学校 3年生	38人
三室戸小学校 5年生	36人
三室戸小学校 6年生	37人

2021年5月1日現在の36人以上学級

日本共産党宇治市議員団  
議員団だより

2021年7月11日  
TEL:0774-22-3141

市議団へのお声はこちらへ↑

